

基本情報

科目名	教職論
時間割コード	0234300901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ディプロマ・ポリシーに示された能力の育成を意識した内容・展開を目指す。</li> <li>2 教員の身分と役割、義務と裁量権について理解する。</li> <li>3 最近の、教員を取り巻く状況や課題について理解する。</li> <li>4 教員に関わる教育制度、学校の組織構造、学級経営の現代的問題理解を通して、求められる新しい教師像と専門性について考察することができる。</li> </ol>
履修上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。</li> <li>2 すべてペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。</li> </ol>
評価方法	ディスカッションへの参加40%、期末試験60%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>前半は、教員に求められる資質と意識を中心とした、教職に関する現状と課題について、最近の事例をもとに、ディスカッションを随所に仕組んだ講義を中心に進める。</p> <p>後半は、理想の教育を求めて取り組んでいる国内の実践例や、世界の先駆者として教育改革に取り組んでいるフィンランドを例に、これからの教育や教師像について、資料を基に、自分なりの考えを導き出すような展開にする。</p> <p>なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教職とは何か 教師の役割と使命感	講義の特性から、事前学修は難しいが、事後学修として、本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	
2	教職の意義 これまでに会った教師を参考に、その意義について考える	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	
3	理想の教師像 聖職者・労働者としての教師像	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	
4	教師像の変化 文学作品・テレビドラマにみられる教師像の変化	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	
5	教員の服務義務 法的義務と現状	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	
6	校務分掌と教員の多様な仕事と多忙化	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	
7	教師間の仕事量の不均衡と公務員制度。	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	
8	一人一人の児童・生徒を守る教師	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	
9	研修とスキルアップ	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	
10	国内における実践例	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	

授業計画

前半は、教員に求められる資質と意識を中心とした、教職に関する現状と課題について、最近の事例をもとに、ディスカッションを随所に仕組んだ講義を中心に進める。

後半は、理想の教育を求めて取り組んでいる国内の実践例や、世界の先駆者として教育改革に取り組んでいるフィンランドを例に、これからの教育や教師像について、資料を基に、自分なりの考えを導き出すような展開にする。

なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	国内における実践例	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	
12	理想の教育を目指して（フィンランドにおける教育改革）	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	
13	理想の教育を目指して（フィンランドにおける教育改革）	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	
14	理想の教育を目指して（フィンランドにおける教育改革）	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	
15	教職への道	本時の学習内容で関心を持ったことや疑問について、資料を収集してまとめる。	

基本情報

科目名	教育行政論
時間割コード	0234301001
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ディプロマ・ポリシーに示された能力の育成を意識した内容・展開を目指す。</li> <li>2 教育行政の基本概念を理解し、教育行政をめぐる諸問題について自分の考えを持つことができる。</li> <li>3 日本国憲法及び教育基本法から導き出される教育の基本原則、及びその意義を理解する。</li> <li>4 学校教育における具体的な事例について、その多くが教育行政と密接に関連していることを理解する。</li> </ol>
履修上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。</li> <li>2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。</li> </ol>
評価方法	ディスカッションへの参加50%、期末試験50%で評価する。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>学校教育における様々な場面において、まず、その運用の実態と問題点に視点を向け、次に、その根拠となる関連法規や資料を判断基準として、実際の場面ではどのように判断すべきかについてのディスカッションを中心に展開する。</p> <p>なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教育行政 教育委員会の組織・機能	授業の終わりに、次時学習指導要領について示すが、事前学修は難しいと思われる。事後学修では、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	
2	教育行政 教職員の人事権	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	
3	教育行政 学校選択制の拡大	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	
4	学校組織 校長の職務・権限と職員会議の機能	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	
5	学校組織 （校長、副校長、教頭の資格要件とその緩和）	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	
6	学校組織 教頭・副校長の職務	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	

授業計画

学校教育における様々な場面において、まず、その運用の実態と問題点に視点を向け、次に、その根拠となる関連法規や資料を判断基準として、実際の場面ではどのように判断すべきかについてのディスカッションを中心に展開する。

なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	学校組織 主任制度	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	
8	学校組織 主幹教諭・指導教諭	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	
9	養護教諭の職務 歴史的変遷	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	
10	養護教諭の職務 職務の変化	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	
11	教育無償化	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	
12	教員のサービスと待遇	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	
13	教育課程 学習指導要領	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	
14	教育課程 教科書	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	
15	教育課程 特別支援教育	事後学修として、関心を持ったことや疑問点について、広く情報を集め、学習を発展させる。	

## 基本情報

科目名	発達心理学
時間割コード	0232001401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

## 担当教員情報

教員名
水間 宗幸

## 詳細情報

授業の目的・到達目標	基本的な教養および対人専門職の基礎的位置づけとして発達心理を位置付け、これを学ぶことにより自己及び他者をひとつの人格として考えることができる。またそれぞれの発達段階の一般的特性を理解し、望ましい発達およびその支援を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回の講義で扱う内容について、必ず教科書を一読した上、分からない単語などを調べておくこと(2時間)。復習時には、ノートをまとめ、講義の中で扱われた理論やキーワードを自分のことばで説明できるようになっておくこと(2時間)。
評価方法	学んだことについて総合的な理解がどの程度できているか、レポートにて評価する(100%)。フィードバックについては希望者に対し個別でレポートのコメントを行う。
テキスト	『新・プリマーズ/保育/心理 発達心理学』 無藤隆・中坪史典・西山修編著 ミネルヴァ書房(2010)
参考文献	講義過程でも適宜紹介の予定
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	2011年12月より、非常勤心理士として精神科病院で発達障害を持つ子ども及びその家族への発達支援のカウンセリングを行っている(現在に至る)。

## 授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	専門職として発達心理学を学ぶ意義~ガイダンス	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
2	発達心理学の基礎理解~発達理論、発達段階、発達課題、発達と学習の関係	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
3	乳幼児期の発達の特徴~人・モノとの出会い	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	
4	愛着形成~親との関係性と子どもの行動	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと(120分)。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	認知発達～子どもの遊びと社会性の広がり	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
6	ことばとコミュニケーションの発達	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
7	自己と情動の発達～感情発達が行動に与える影響	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
8	仲間関係とこころの理解	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
9	道徳性と向社会的行動の発達～集団の中で学ぶもの	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
10	児童期の発達の特徴～学校教育という環境と発達課題	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
11	学校のなかでの子ども～学びを支える指導の在り方	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
12	発達の多様性の理解～発達のつまづきや多様化する社会の中の子どもの困り感	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
13	思春期・青年期の発達の特徴とアイデンティティの形成	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
14	成人期から老年期の発達と課題	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
15	発達と学び～生涯学習と生涯発達支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	

基本情報

科目名	特別支援教育総論
時間割コード	0234301101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）

担当教員情報

教員名	
水間 宗幸	

詳細情報

授業の目的・到達目標	特別支援教育の意義や目的を理解し、学習面、行動面などに困難を抱える子どもの理解を、発達心理学的観点から理解し、それぞれの発達段階や特性に応じた教育および支援の在り方を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回の講義で扱う内容について、必ず教科書を読んでおき、復習時にはキーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。予習120分、復習120分を目安に行うこと。
評価方法	試験で評価する(100%)。なお試験のフィードバックについては、希望者に個別に口頭で評価内容を伝える。
テキスト	はじめての特別支援教育--教職を目指す大学生のために 改訂版（有斐閣アルマ）、柘植雅義・渡部匡隆・二宮真一・納富恵子編、（2014）
参考文献	「発達障害の子どもたち」（2007）、「発達障害のいま」（2011）ともに杉山登志郎、講談社現代新書。その他、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：特別支援教育の概要と中教審「特別支援教育推進について」	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
2	特別支援教育と発達臨床心理学的考え方	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
3	知的機能などに制約がある子どもの理解と支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
4	運動機能などに制約がある子どもの理解と支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
5	見え、聞こえなどに制約がある子どもの理解と支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	読み書き計算などに制約がある子どもの理解と支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
7	注意集中力などに制約がある子どもの理解と支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
8	社会性の発達などに制約がある子どもの理解と支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
9	貧困や母国語など社会問題等によって発達に課題を抱える子どもの理解	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
10	教育課程の中の特別支援教育の理解	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
11	特別支援教育に関わるアセスメントについて	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
12	発達に制約がある子どもの二次障害への理解	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
13	不登校の理解と支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
14	虐待が発達に及ぼす影響の理解と支援	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	
15	学習面、行動面に困難を抱える子どもを支える専門機関の理解	事前学習として各回の内容についてテキストや事前配布資料等を確認しておくこと（120分）。 講義終了後は資料やノートを整理し内容を確認する復習をすること（120分）。	